

---

---

福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書

---

---

よつば保育園

平成 25 年 2 月 22 日

株式会社 フィールズ

# 目次

## 〔川崎市福祉サービス第三者評価結果報告様式〕

(認可保育所版)

■ 対象事業所、評価方法等 .....	1
■ 総合評価 .....	2
■ 全体の評価講評 .....	2
＜サービス実施に関する項目＞	
■ 共通評価領域1 サービスマネジメントシステムの確立 .....	4
■ 共通評価領域2 人権の尊重 .....	8
■ 共通評価領域3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供 .....	10
■ 共通評価領域4 サービスの適切な実施 .....	12
＜組織マネジメントに関する項目＞	
■ 共通評価領域5 運営上の透明性の確保と継続性 .....	15
■ 共通評価領域6 地域との交流・連携 .....	18
■ 共通評価領域7 職員の資質の向上の促進 .....	20
＜利用者調査結果＞	
■ 認可保育所 利用者調査項目（アンケート） .....	22

〔川崎市福祉サービス第三者評価結果報告様式〕  
(認可保育所版)

対象事業所名 (定員)	よつば保育園 (60人)
経営主体 (法人等)	川崎市社会福祉事業団
対象サービス	保育園
事業所住所	〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町14-8
事業所連絡先	044-288-4289
評価実施期間	平成24年4月～平成25年1月
評価機関名	株式会社 フィールズ

評価実施シート (管理者層合議用)	評価実施期間 平成24年4月10日～平成24年12月10日
	(評価方法) ・管理者の合議により、決められた評価票により自己評価を実施した。
評価実施シート (職員用)	評価実施期間 平成24年9月6日～平成24年12月10日
	(評価方法) ・説明を職員全員に行い、各自が評価票で自己評価を実施した。 ・記入後は職員から直接評価機関に郵送してもらった。
利用者調査	配付日) 平成24年11月1日 回収日) 平成24年12月10日
	(実施方法) ・施設より利用者家族全員に調査票を配布した。 ・記入後は家族から評価機関に直接郵送してもらった。
評価調査者による 訪問調査	評価実施期間 (実施日) / 平成25年1月10日
	(調査方法) ・評価調査者2名が訪問して、施設見学及び利用者の保育観察を行った。 ・同様に資料調査及び関係者へのヒアリングにより事業者調査を行った。

## [総合評価]

### <施設の概要・特徴>

よつば保育園は、平成18年4月1日に開設の定員60名の保育園です。運営主体の社会福祉法人川崎市社会福祉事業団は、全ての市民が地域において安心して快適な生活が営める福祉社会づくりをめざして設立した社会福祉法人で、保育園のほかに障害児施設、高齢者施設等幅広く運営しています。よつば保育園はJR線川崎駅もしくは京浜急行線京急川崎駅からバス12分、徒歩5分の所に位置しています。

よつば保育園の名前は「四葉のクローバーが幸せを呼ぶと言われることから、子どもたちを含めたみんなが幸せになれるように」という願いを込めてつけられました。保育園は、周囲を住宅街に囲まれ静かな環境です。園舎は園庭、吹き抜けのある空間、ウッドデッキ、ランチルームなど開放的で、全ての保育室が明るく風の抜ける心地よい空間です。いつでもどこにいても見渡せる空間構成で安全性を保っています。家庭的な雰囲気の中で子どもたちが楽しく過ごしています。

## [全体の評価講評]

### <特によいと思う点>

子どもたちがお互いを認め合い、豊かな体験ができる環境を作っています

家庭的な園舎、園庭、屋上、ウッドテラスやランチルームなどの空間を有効に活用し、子どもたちがお互いを認め合い、様々な体験ができるように配慮しています。保育室の遊具、玩具、絵本、様々な素材なども子どもの発達や興味、季節に合わせて提供しています。

各年齢に応じた栽培や小さな生き物の飼育、異年齢の関わり、散歩、地域の親子とともに楽しむ移動動物園や人形劇鑑賞、コンサート、近隣保育園や敬老会との交流など、子どもたちが集団生活の中でさまざまな体験やふれあいを通して、豊かな感性や安定した情緒、相手をいたわる気持ちや優しさを育てています。

職員研修を通して保育の技術や知識を高め、園全体で質の向上に取り組んでいます

園内研修として職員が2つのグループを作り、多角的な検討と実践をまとめています。研修テーマは全体会議で検討して決定し、10月の中間報告会で次への課題をまとめ、2月に総括報告会で発表しています。昨年度は「運動と栽培」「食育」の2グループで実施しました。今年度は「環境」と「運動・体づくり」をテーマに、目的を持って保育に取り組んでいます。

職員が互いに刺激し合って学ぶことで、専門性の向上とともに、良好な連携体制の構築にもつながっています。外部研修にも積極的に参加し、定期的に伝達研修を行い情報共有を図っています。

「見える保育」「伝える保育」を意識し、家庭と園の生活の連続性を大切にしています

保護者に対し「見える保育」「伝える保育」を意識して情報を提供しています。園行事や集会、食育活動などに意欲的に参加したり、遊具などに挑戦し日々成長する子どもの姿を写真や文章でその日のうちに玄関に掲示しています。全クラスのクラス便りを玄関に掲示したことで他クラスの保育が伝わり保護者に好評です。各担任は写真を多く使うなど日常の姿をよりわかり易く伝える工夫をしています。

保護者会・懇談会・行事后感想文や満足度アンケートの実施など、場面や目的に応じて保護者の考え方や提案を聞いており、家庭と園の生活の連続性を考えたきめ細かな対応と保護者の視点にたった情報提供は、保護者の高い満足度につながっています。

**<さらなる改善が望まれる点>**

**保育園の機能や専門性を生かした地域支援を、今一歩進めることが期待されます**

外掲示板を活用し、在宅で子育てしている地域の方々を園庭開放に誘ったり、育児相談を受けつけています。一時保育事業の受け入れには専任の保育士を配置し、保育室を整備して対応しています。年5回地域活動事業を実施し多くの方が参加しています。今後は、園の機能や専門性を地域に還元する試みをさらに発展させ、園庭開放に来園した地域の親子と園児が一緒に楽しめる企画や、健康推進を支援する講座、地域向け体験学習など幅広い取り組みが期待されます。

**園の苦情受付担当、第三者委員などの認知度アップに取り組むことが期待されます**

園の苦情受付担当、第三者委員など苦情解決までの仕組みを定め、玄関に掲示し保護者に周知しており、保護者からの意見・要望を受け入れる体制を整えています。しかしながら、この度の第三者評価保護者アンケートではその認知度がやや低い結果となっています。園のしおりに明記したり、保護者会などで説明の時間を設けるなど認知度アップに向けた取り組みが期待されます。

## <サービス実施に関する項目>

### 共通評価領域

#### 1 サービスマネジメントシステムの確立

①見学希望では、子どもたちが園内で活動してる時間帯の来訪を勧め、パンフレット等を渡し、園長や主任が案内しながら質問にも丁寧に答えています。入園が決まった方には入園前健康診断と説明会を実施しています。新入園児が園に馴染めるように慣らし保育を実施し、連絡帳の記載事項や保護者との会話から子どもの状態を把握して個別に配慮しています。年長児では、就学がスムーズに行くように小学校と連携を図り、就学を見通した保育を実施し、保育要録を作成しています。クラス懇談会でも保護者宛に情報を提供し就学への不安解消に努めています

②子供の情報は児童票に集約されています。法人（事業団）の5園合同の保育課程をもとに保護者の就労状況や地域の実態、周囲の環境等も加味してよつば保育園の保育計画や指導計画を作成して、クラス懇談会、毎月の園だよりなどで保護者に知らせています。指導計画は子どもたちの自主性や主体性が発揮できるように作成し、園目標に沿って職員会議で話し合って立案し実施しています。指導計画の評価と見直しは、園長や栄養士、看護師などの専門職も参加して実施しています。また、食育計画、健康計画も作成しています。

③職員が分担して作成した各種マニュアル類は職員全員に配付しています。それらは事務所にも置き、いつでも確認できます。マニュアル類の内容の点検と定期的な見直しは年度末の職員会議で実施し、見直しの基準も明確になっています。健康管理、緊急マニュアルは今年度、特に時間をかけて見直ししました。怪我・病気・事故、安全管理、衛生管理マニュアルも完備され、月1回の環境安全点検を実施し危険箇所の発見と改善、補修を実施しています。事故報告書、ヒヤリハットの記入もあり、緊急連絡先一覧も掲示しています。

### 評価分類

(1) サービスの開始・終了時の対応が適切に行われている。

A

①園のパンフレットには、事業内容、保育理念、保育方針、保育目標、年間保育行事の他にデイリープログラム、園の平面図などを記載しています。法人ホームページでは、園への理解が深まるよう写真を多く掲載して情報提供に努めています。入園申し込み前の9月から12月にかけて、問い合わせの電話や見学希望者が増えます。見学の日程は先方の希望を優先し、子どもたちが園内で活動している時間帯の来訪を勧めています。突然の来園にも対応しており、園長や主任が案内し質問にも答えています。

②入園が決まった方には入園前健康診断の受診と説明会を実施しています。説明会ではしおりに沿って保育料以外の徴収金の有無・金額など園の事業を詳しく説明しています。その後個人面談を実施し、除去食の提供や延長保育利用申請など必要な書類の提出等について説明し理解してもらっています。職員は保護者が前もって記入し提出した児童票をもとに、子どもの生育歴等を把握しています。病歴などリスクのある子どもの一覧表を作成して全職員が周知しています。

③新入園児が園に馴染めるように、朝の受け入れでは連絡帳の記載事項や保護者との会話から子どもの様子を聞き取り、所定の職員連絡用引き継ぎメモに記載して、情報を共有しています。子どもが心の拠り所とするタオルや玩具などの持ち込みを認めています。また、慣らし保育を実施しています。

④就学がスムーズに行えるように小学校と連携をはかり、就学を見通した保育を実施しています。保育要録を記入して小学校への引継ぎをしています。クラス懇談会を実施し、就学に向けて保護者への情報提供に努めることで、就学への不安を受け止めるようにしています。

### 評価項目

実施の可否

①	保護者等（利用希望者を含む）に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	○
②	サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	○
③	サービス利用開始後に、子どもの不安やストレスが軽減されるような支援を行っている。	○
④	就学がスムーズに行われるよう、保育の方法や保護者とのかわりに配慮されている。	○

<b>評価分類</b> <b>(2) 手順を定め、その手順に従ったアセスメントを行い、サービス実施計画を策定している。</b>		<b>A</b>
<p>①入園に向けて実施される個人面談では児童票の内容について確認しています。生育歴やアレルギーの有無も確認し、その内容は児童票に記録して入園後の保育に活かしています。児童票には入園時の状況報告、健康診断記録や面接による生活記録、発育個人表などが綴じられており、子供の情報は児童票に集約されています。</p> <p>②年齢別保育計画や指導計画は保護者の就労状況や地域の実態、周囲の環境等も加味して作成し、入園時の保護者説明会や年度当初のクラス懇談会、毎月の園だよりなどで、保護者に知らせています。クラス別に年間、月間、週日指導計画、日誌を作成しています。職員は、子どもたちの意見を反映し、製作の素材選びや、毎月の歌、散歩の行き先や遊びの内容を決めるなど、子どもたちの自主性や主体性が発揮できるように指導計画を作成しています。</p> <p>③園目標に沿って、「大切にしたい事、育てたい力」について職員会議で話し合い「自己肯定感がもてる子ども」「異年齢の関わりを広げ、友達を大切に楽しく遊べる子ども」になるように、子ども一人ひとりを大切にすることを第一に考え、指導計画を立案し実施しています。食育計画、健康計画も作成しています。</p> <p>④月間指導計画の評価と見直しは、園長や栄養士、看護師等の専門職も参加して行っています。職員は、送迎時の保護者との会話や連絡帳の記載事項等で保護者の意向を聞き、その内容を週日指導計画に盛り込んで個別配慮に努めています。子どもの生活環境や全体像を把握し保育に活かしています。</p>		
<b>評価項目</b>		<b>実施の可否</b>
①	手順を定め、その手順に従ってアセスメントを行っている。	○
②	指導計画を適正に策定している。	○
③	状況に応じてサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○

<b>評価分類</b> <b>(3) サービス実施の記録が適切に行われている。</b>		<b>A</b>
<p>①子どもに関する基本的な情報は個人別に児童票にとじています。発達個人票をはじめ、乳幼児身体発達曲線、健康診断記録や離乳食の進み具合など、成長に伴う変化なども詳細に記録しています。入園後の子どもの成長の記録は個人別の経過記録に記載しており、子どもの健康面、生活習慣の獲得、意欲的に取り組んだ事柄など保育過程に沿った内容の記録となっています。</p> <p>②研修「指導計画や記録の取り方」に職員が参加し、過不足ない記録の取り方を学んでいます。</p> <p>③児童票や緊急連絡票、健康の記録など子どもに関する情報は鍵のかかる書庫に保管し、必要に応じて職員が閲覧出来るようにしています。</p> <p>④朝のミーティングで出された子どもの情報など、職員が共有する必要な事項は、ミーティングノートに記載しています。全体職員会議、乳児・幼児会議を実施し、それぞれの職員会議録は職員が見たら印をつけるようにして、周知徹底に努めています。</p>		
<b>評価項目</b>		<b>実施の可否</b>
①	子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	○
②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○
③	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している。	○

評価分類 (4) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		A
<p>①園での業務を網羅したマニュアル類は、職員間で担当を決め分担して作成し、職員全員に配布しています。マニュアル類はファイルにまとめて事務所にも置き、いつでも確認できるようにしています。マニュアル類はフォロー図で示したり、判りやすい表現を用いています。マニュアル類の内容の点検と定期的な見直しは年度末の職員会議で行っており、見直しの基準も明確になっています。</p> <p>②「健康管理マニュアル」「緊急マニュアル」については今年度、特に多くの時間をかけて見直ししました。嘔吐下痢対応、感染症の予防、蔓延防止のための衛生管理やアレルギー児の対応のためのエピペン実習も全職員が参加して実施しました。それらの内容を網羅し丁寧に明文化しました。</p> <p>③日頃の業務を通して職員が気付いた事柄や提案事項は全体職員会議で検討するしくみとなっています。行事後には反省会を実施し、保護者アンケート結果を踏まえ次の行事企画の参考にしています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	提供するサービスについて、標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	○
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○

評価分類 (5) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		A
<p>①怪我・病気・事故等に対応する各種マニュアルがあり、緊急に関するものは全て判りやすくまとめて備えています。年1回職員が読み合せを実施し、緊急時に速やかな対応が取れるようにしています。感染症についても健康管理マニュアルに基づき、看護師を中心に園内研修を実施しています。</p> <p>②月1回の環境安全点検ではチェックリストを用いて毎回違う職員が違う目で点検し、危険箇所の発見と改善、補修を行っています。</p> <p>③「健康管理マニュアル」に基づき、保育室のおもちゃの消毒、床、トイレ、沐浴室の清掃は職員が交代で行い、厨房の衛生管理についても手順書に沿って実施しています。</p> <p>④毎月の自衛消防組織による避難訓練の他に、年に1回消防署に来てもらって消防訓練を実施しています。年に2度の不審者対応の訓練もしています。不審者情報は川崎市から情報が入ります。職員が合言葉を決めて放送する等、緊急時に慌てないように訓練を重ねています。</p> <p>⑤3.11の震災を経て園児の安全確認の方法や防災意識を高める工夫をしています。避難訓練を毎月実施しています。災害時の連絡先については年間保育内容説明会で説明し、変更等があった場合は申し出てもらっています。</p> <p>⑥安全面の対策では大きなケガや事故がないように全体会議やミーティングで職員が話し合っています。保育中のケガ等については、速やかに保護者に知らせ、事情を説明するとともにかかりつけ医の情報を基に必要があれば受診しています。通院した場合は事故報告書を書き、日誌に記録しています。通院しない場合でも、ヒヤリハットに記入し話し合いを行い再発の防止につなげています。「安全管理マニュアル」に基づき、緊急連絡先一覧も完備され、医療機関の連絡先一覧を掲示しています。</p>		



評価項目		実施の可否
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における子どもの安全確保のための体制が整備されている。	○
②	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	○
③	子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	○

## <サービス実施に関する項目>

共通評価領域 2 人権の尊重
<p>①保育理念・目標・方針を各クラスに掲示して意識づけを行ったり、「子どもの権利」に関する研修参加、会議でNG用語について話し合いや子どもの権利の小冊子の読み合わせなど、職員は子どもの気持ちに寄り添い、個々の思いや気持ちを受け止めながら援助や支援が行えるよう努めています。子どもは、一斉活動のほかにクラスの朝の会が始まるまでの時間や午睡やおやつの後などに遊具や素材を自由に取り出したり、おもちゃで好きなこととして遊び込んでいます。</p>
<p>②「虐待防止マニュアル」を作成し、虐待についての定義など周知しています。疑いがある場合も保護者とコミュニケーションを図り信頼関係を築きながら改善に向け取り組んでいます。児童相談所・保健福祉センターなど関係機関と連携し、早期発見と対応に努めています。</p>
<p>③個人情報保護に対する基本方針を定め、保育園が取り扱う個人情報やその利用目的について玄関に掲示し、保護者に周知しています。写真など外部に情報を提供する時はその都度同意を得ています。全職員に守秘義務の意義や目的の周知、遵守を徹底しています。幼児用トイレにはドアを設置、プール遊びの時にはすだれで周囲を囲み外部から覗かれないように配慮、バスタオルの使い方や着替えの仕方など羞恥心への配慮も考えながら指導しています。</p>

評価分類 (1) サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している。	A
<p>①一斉活動のほかにクラスの朝の会が始まるまでの時間や午睡やおやつの後などに子どもは遊具や素材を自由に取り出したり、好きな遊具を選び遊び込んでいます。</p> <p>②名簿は生年月日順になっています。活動の際のグループ分けや役割などは男女関係なく行っています。職員は男だから、女だからという性差への固定観念を持った対応をしないよう確認しています。</p> <p>③保育理念・目標・方針を各クラスに掲示して意識づけを行ったり、「子どもの権利」に関する研修参加、会議でNG用語について話しあいや子どもの権利の小冊子の読み合わせなど、職員は子どもの気持ちに寄り添い、個々の思いや気持ちを受け止めながら援助や支援が行えるよう努めています。</p> <p>④「虐待防止マニュアル」を作成し、虐待についての定義など周知しています。疑いがある場合も保護者とコミュニケーションを図り信頼関係を築きながら改善に向け取り組んでいます。児童相談所・保健福祉センターなど関係機関と連携し、早期発見と対応に努めています。</p>	
評価項目	実施の可否
① 日常の保育にあたっては、個人の意思を尊重している。	○
② 子どもを尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。	○
③ 虐待の防止・早期発見のための取組を行っている。	○

評価分類 (2) 利用者のプライバシー保護を徹底している。		A
<p>①個人情報保護に対する基本方針を定め、保育園が取り扱う個人情報やその利用目的について玄関に掲示し、保護者に周知しています。写真など外部に情報を提供する時はその都度同意を得ています。</p> <p>②全職員に守秘義務の意義や目的の周知、遵守を徹底しています。実習生や契約・パート職員には誓約書をとっています。体験学習の生徒には学校側からも指導をお願いしています。</p> <p>③児童票、緊急連絡票など個人情報に関する書類は事務室の鍵のかかる書庫にて保管管理しています。</p> <p>④幼児用トイレにはドアが付けられています。プール遊びの時にはすだれで周囲を囲み外部から覗かれないよう配慮しています。バスタオルの使い方や着替えの仕方など羞恥心への配慮も考えながら指導しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもや保護者に関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている。	○
②	利用者の気持ちに配慮した支援を行っている。	○

<サービス実施に関する項目>

<p>共通評価領域 3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供</p>
<p>①年に1回「利用者満足度アンケート」を実施しています。事務室前には「園長への手紙」と題した意見箱を設置しています。懇談会や個別面談の機会を設けています。保護者に対してさまざまな取り組みを通して、園が提供しているサービスに対する意向・要望を表せる機会を設けています。出された意見・要望について全体職員会議で検討し、改善しています。回答は玄関の掲示板でフィードバックしています。</p>
<p>②園の苦情受付担当、第三者委員など苦情解決までの仕組みを明記し、玄関に掲示して、保護者に周知しており保護者からの意見・要望を受け入れる体制を整えていますが、認知度が低い現状があります。園のしおりに明記したり、保護者会などで説明の時間を設けるなど認知度アップに向け取り組むことが期待されます。</p>
<p>③園舎、園庭とも小規模ですが、屋上・ウッドテラス・ホールなど限られた空間を有効に活用しています。保育室の遊具、おもちゃ、絵本、素材なども子どもの発達や興味、季節に合わせて適宜環境設定の見直しをしています。各年齢に応じた栽培計画、小さな生き物の飼育、異年齢保育、散歩、地域の親子とともに楽しむ移動動物園や人形劇鑑賞、近隣保育園や敬老会との交流など子どもが集団生活の中でさまざまな体験やふれあいを通して豊かな感性や安定した情緒、相手をいたわる気持ちや優しさを育てています。</p>

<p>評価分類 (1) 利用者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる。</p>	<p>A</p>
<p>①年に1回「利用者満足度アンケート」を実施しています。事務室前には「園長への手紙」と題した意見箱を設置しています。懇談会や個別面談の機会を設けています。保護者に対してさまざまな取り組みを通して、園が提供しているサービスに対する意向・要望を表せる機会を設けています。</p> <p>②保護者参加の行事の折も感想文をお願いして、意見・要望の把握に努めています。</p> <p>③出された意見・要望について全体職員会議で検討しています。回答は玄関の掲示板でフィードバックしています。「園のお知らせをもっと早く知らせて欲しい」という「利用者満足度アンケート」に出された保護者の意見を検討し、園だよりと給食だよりを前月末までに配付することとサービス改善につなげた事例があります。</p>	
<p>評価項目</p>	<p>実施の可否</p>
<p>① 利用者満足の把握に向けた仕組みを整備している。</p>	<p>○</p>
<p>② 利用者満足の向上に向けた仕組みを整備し、サービス向上に取り組んでいる。</p>	<p>○</p>

評価分類 (2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		A
<p>①子どもに対して否定的であったり、職員の考えを押し付けるような言葉がけや対応のないよう職員間で確認しています。保育の中で、子どもの興味を引き出せるような働きかけや子どもの意見や考えを大切にすることを心がけています。</p> <p>②保護者とは毎日の送迎時の関わりの中で信頼関係を築きながら気軽に話し合える雰囲気づくりを行っています。相談は、必要に応じて園長が同席したり、内容を業務日誌に記録し、継続的なフォローが行えるようにしています。</p> <p>③園の苦情受付担当、第三者委員など苦情解決までの仕組みを明記し、玄関に掲示、保護者に周知しており保護者からの意見・要望を受け入れる体制を整えていますが、認知度が低い現状があります。園のしおりに明記したり、保護者会などで説明の時間を設けるなど認知度アップに向け取り組むことが期待されます。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備している。	○
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	○
③	子どもからの意見等に対して迅速に対応している。	○

評価分類 (3) 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている。		A
<p>①子どもや家庭の個別の状況、発達の状態を記録し、職員間で共有しています。職員は子ども同士のけんかやトラブルに対して危険のない限り見守る姿勢でいます。場合によっては仲介者となりお互いの気持ちを聞き、時には代弁したりと成長や発達に合わせた援助を行っています。</p> <p>②園舎、園庭とも小規模で家庭的であり、屋上・ウッドテラス・ホールなど限られた空間を有効に活用しています。保育室の遊具、おもちゃ、絵本、素材なども子どもの発達や興味、季節に合わせて適宜環境設定の見直しをしています。</p> <p>③各年齢に応じた栽培計画、小さな生き物の飼育、異年齢保育、散歩、地域の親子とともに楽しむ移動動物園や人形劇鑑賞、クリスマスコンサート、近隣保育園や敬老会との交流など子どもが集団生活の中でさまざまな体験やふれあいを通して豊かな感性や安定した情緒、相手をいたわる気持ちや優しさを育てています。</p> <p>④発達の気になる子どもについては月間指導計画にて評価やカンファレンスを実施しています。外国籍の保護者には個別に説明や聞き取りを行ったり、配付物にはふりがなをふるなど配慮しています。毎月世界各国料理を提供しています。旗を立てたり「いただきます」をその国の言葉で言うなど文化の違いを自然に理解し、成長できるよう援助しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子ども一人ひとりを受容し、その発達の過程や生活環境などの理解を深めて働きかけや援助が行われている。	○
②	様々な人間関係や友達との協同的な体験ができ、生活が豊かになるような環境が整備されている。	○
③	子どもが主体的に活動し、自分を表現し、他者の表現を受け入れる力が育つように支援している。	○
④	特別の配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している。	○

## <サービス実施に関する項目>

共通評価領域 4 サービスの適切な実施
<p>①園庭がそれほど広くないため、遊びの中での健康増進や運動能力を高める工夫をし、散歩や公園で思いきり体を動かす時間を積極的に設けています。特に幼児は身のこなしと持久力を身につけることに取り組んでおり、職員間で連携しながらリトミックや運動遊びをバランスよく取り入れています。朝7時から夜8時までと保育時間が長くなるので動と静のバランスを考えながら、室内で子どもが落ち着いて好きなことができるようにも配慮しています。</p>
<p>②「見える保育」「伝える保育」を意識して行事や集会、食育活動など日々の子どもの様子を写真などでその日の内に玄関に掲示して保護者に知らせています。全クラスのクラス便りを玄関に掲示したことで他クラスの保育の様子が伝わり保護者に好評です。保護者会・懇談会・園長への手紙・行事後の感想文など場面や目的に応じて保護者の考え方や提案を聞く機会を設けるなど家庭と園の生活の連続性を考えています。</p>
<p>③看護師が保健指導のほかに危険予知指導も行っています。交通ルール、遊びのルール、園内でのルールなど必要に応じて子どもと一緒に考えることで身の回りの危険な事がわかり、気をつけようとして指導しています。心身の健康維持のために定期的に健康診断・歯科健診を実施しています。保護者に主な感染症の症状や登園禁止期間などを一覧表にして明記して知らせています。</p>

評価分類 (1) 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている。	A
<p>①登園時の受け入れ時、連絡帳や口頭での確認と併せて検温チェック表に朝の体温の記載をお願いしています。保健日誌も活用し健康状態を確認、視診を行っています。</p>	
<p>②一人ひとりの成長や発達に合わせ、食事・排泄・衣服の着脱・清潔など無理なく基本的な生活習慣が身につくよう家庭と連携しながら進めています。園庭が狭いため遊びの中での健康増進や運動能力を高めるために、散歩や公園で思いきり体を動かす時間を積極的に設けています。特に幼児は身のこなしと持久力を身につけることに取り組んでおり、職員間で連携しながらリトミック運動をバランスよく取り入れています。</p>	
<p>③子どもの体調に合わせて外遊びは控えるなど個別に対応しています。午睡時眠くない子どもにも体を休めることの大切さを伝え、布団で静かに過ごすようにしています。2歳児クラスまでは個別の連絡帳、3歳以上は保育記録にて保護者に子どもの様子を伝えています。可能な限り担任から直接口頭で伝えるようにしています。引き継ぎメモも活用しています。</p>	
<p>④「見える保育」「伝える保育」を意識して行事や集会、食育活動など日々の子どもの様子を写真などでその日の内に玄関に掲示して保護者に知らせています。全クラスのクラス便りを玄関に掲示したことで他のクラスの保育の様子が伝わり保護者に好評です。クラス便りは写真を増やし日常の様子をわかり易く伝える工夫をしています。</p>	
<p>⑤保護者会・懇談会・園長への手紙・行事後の感想文など場面や目的に応じて保護者の考え方や提案を聞く機会を設けています。</p>	
評価項目	実施の可否
① 登園時に家庭での子どもの様子を保護者に確認している。	○
② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるよう支援を行っている。	○
③ 休息（昼寝も含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している。	○
④ お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている。	○
⑤ 保育所の保育に関して、保護者の考え方や提案を聴く機会を設けている。	○

評価分類		A
(2) 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。		
<p>①保護者の育児と就労の両立を支援するために、7時～20時までの長時間保育を実施しています。保育時間が長くなるので動と静のバランスを考えながら、子どもが落ち着いて好きなことができるよう各年齢に応じた玩具や遊具を揃えるなど配慮しています。玄関やランチルームの絵本コーナーは子どもがちょっとみんなから離れてほっとできる良い空間になっています。</p> <p>②日常的に他クラスとの交流が行われているほか、わくわくランド（運動会）では異年齢でのプログラムを用意しています。お店やさんごっこや仲良し集会では全園児が参加し触れあって遊んでいます。</p> <p>③延長保育時は人数も少なく0歳～5歳までランチルームで過ごしています。家庭的な雰囲気の中、大きい子どもは小さい子の世話を焼いたり、小さい子は大きい子へのあこがれの気持ちが自然に培われています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。	○
②	年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている。	○

評価分類		A
(3) 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している。		
<p>①3歳～5歳はランチルームで給食を食べています。楽しく食べる雰囲気を作り、苦手な献立も少しずつ食べられるような言葉かけや援助をしています。献立は栄養バランスのみでなく和・洋・中、色合いなどのバランスも考慮しています。お楽しみ会食にてバイキングや日本の文化伝統食を適宜取り入れるとともに、和食器や誕生日プレートなど行事ことに食器も工夫して使い食事全体を楽しんでいます。</p> <p>②授乳や離乳食は保護者と連携しながら一人ひとりのペースで職員はゆったりと対応しています。</p> <p>③年齢に合わせた食育に取り組んでいます。栽培・調理・お手伝いなど発達に合わせた計画的な活動を通して食べ物への興味、感謝、食べる意欲や喜びにつなげています。</p> <p>④除去食の提供にあたっては申請書や医師からの診断書提出のほか保護者と面談し、6ヶ月毎に見直しています。誤食のないよう別トレイ・別机にて対応しています。体調によっては医師の診断を受けた上で保護者の依頼により、おかゆなど配慮食も提供しています。</p> <p>⑤毎日の給食展示、食育の取り組み活動を写真で掲示、食育だより・給食だよりの配付、給食試食会実施など園の食育に関する取り組みを折に触れ保護者に伝えています。子どもに人気のメニューのレシピや日本の食の伝統文化を紹介したりと家庭と協力して食育を推進しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	子どもが楽しく、落ち着いて食事を取れるような雰囲気作りに配慮している。	○
②	メニューや味付けなどに工夫をしている。	○
③	子どもの体調や文化の違いに応じた食事（アレルギー対応を含む）を提供している。	○
④	保育所の食事に関する取組を保護者に対して伝える活動をしている。	○

評価分類		A
(4) 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている。		
<p>①看護師が保健指導のほかに危険予知指導も行っています。交通ルール、遊びのルール、園内でのルールなど必要に応じて子どもと一緒に考えることで身の回りの危険な事がわかり、気をつけようとできるよう指導しています。</p> <p>②子どもの健康状態に関する記録や情報は個別の健康ノートにて保管管理しています。園医による健診は1歳までは毎月、他クラスは年4回実施しています。結果はその日のうちに健康ノートにて保護者に知らせています。子どもの急な体調変化では園医に相談できる体制ができています。</p> <p>③毎年歯科健診を実施しています。職員が模型やペープサートを用いて虫歯の話をしたり、赤染めを行い歯磨き指導を行っています。3歳まで職員が仕上げ磨きを行っています。</p> <p>④「入園のしおり」に主な感染症の症状や登園禁止期間などを一覧表にして明記しています。園で感染症が発生した場合は情報やお知らせを掲示して周知しています。乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として午睡時睡眠チェックを0～1歳は15分毎、2歳は30分毎、幼児は1回以上呼吸の確認とともに姿勢も観察しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている。	○
②	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それぞれの保育に反映させている。	○
③	保護者に対して感染症や乳児突然死症候群（SIDS）等に関する情報を提供し、予防に努めている。	○



## <組織マネジメントに関する項目>

<p>共通評価領域 5 運営上の透明性の確保と継続性</p>
<p>①法人の基本理念に基づき、理念・目標・保育方針を定めています。保育目標は「心も体も健康な子ども」「友達と一緒に楽しく遊べる子ども」「自分の思いや考えを豊かに表現できる子ども」「楽しく食べる子ども」で各保育室と玄関に掲示し、ホームページ、パンフレット、入園のしおり、保育課程に記載しています。入園説明会等で職員がパワーポイントで「乳児・幼児として大切にしていること」を説明し、園が目指す理念や保育への理解を求めています。園だよりもにも保育目標や基本方針を記載しています。</p>
<p>②運営方針や事業計画は毎年4月に職員全員で読み合せをし、経営を意識した園運営を共通理解しています。事業計画に基づき職員は業務を分担しており、職務分担表によって役割分担と責任を明確にしています。職員はきめ細かい保育を実施するために話し合いを持ち、その年のキーワードを決めており、今年度は、笑顔（子供も保護者も職員も笑顔になれる）、協力（連携し支え合う）ゆとりを持ち計画的に仕事を進めると決めました。毎年4月の保護者説明会では年間予定票や事業計画、運営方針を説明しています。</p>
<p>③園の重点目標に「職員の資質の向上と保育力の向上」を挙げ、専門知識や技術の習得に務めるように研修参加を勧めています。法人の研修として、日頃の保育実践を報告し合う機会があり、質の向上につながっています。職員はお互いの姿が見える環境で働いており、子どもへの声かけや生活主観の獲得への取り組みなど、先輩職員の優れた点を自然に学べる環境となっています。判断に迷うことがあったら、主任、リーダー、保育士、保育補助の関係の中で、適切な判断を検討し、確認しながら行動するようにしています。</p>

<p>評価分類 (1) 事業所が目指していること（理念・基本方針）を明確化・周知している。</p>	<p>A</p>
<p>①法人の基本理念に基づき、保育園独自の理念・目標・保育方針を定めています。保育目標は「心も体も健康な子供」「友達と一緒に楽しく遊べる子ども」「自分の思いや考えを豊かに表現できる子供」「楽しく食べる子供」です。理念・目標・保育方針は各保育室、玄関に掲示しています。</p> <p>②理念・保育目標・基本方針について、職員会議でその内容や意義について話し合っています。法人ホームページ、園のパンフレット、入園のしおり、保育課程にも掲載しています。</p> <p>③保育説明会や入園説明会、懇談会では、乳児・幼児のリーダーが、パワーポイントを用いて「乳児として大切にしていること」「幼児として大事なこと」と題して説明する時間を設け、園が目指す理念や保育について理解を求めています。</p> <p>④クラス懇談会では、担任が、子供の変化や日常の保育の様子を具体的に話しています。園だよりもにも、折に触れて保育目標や基本方針を記載しています。</p>	
<p>評価項目</p>	<p>実施の可否</p>
<p>① 理念・基本方針を明示している。</p>	<p>○</p>
<p>② 理念・基本方針について、職員の理解が深まるような取組を行っている。</p>	<p>○</p>
<p>③ 理念・基本方針について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取組を行っている。</p>	<p>○</p>

評価分類		A
(2) 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる。		
<p>①法人として中・長期計画を策定し明文化しています。これらの中・長期目標に基づき、重点目標「保護者の意見・要望を汲み取り相互理解する」「職員の資質・保育力の向上」「地域に根ざした施設運営」などを定め、子供たちの最善の利益の視点で保育を進めています。</p> <p>②毎年、事業計画を作成し職員に提示しています。法人内の各施設では毎年1月の初旬から職員が話し合う機会を持ち、現状を分析して課題や問題点を明確にし、次年度の取り組みについて検討しています。事業計画に基づき職員は業務を分担し、計画的に業務を進めています。運営方針や事業計画は毎年4月に職員全員で読み合せをし、経営を意識した園運営を全職員が共通理解しています。</p> <p>③職員は業務の遂行についてその年のキーワードを決めており、今年度は「笑顔（子どもも保護者も職員も笑顔になれる）協力（連携し支え合う）ゆとりを持ち計画的に仕事をすすめる」としました。</p> <p>④毎年4月の第三土曜に実施する年度当初の保育説明会で、保護者宛に年間予定票や事業計画、年度毎の運営方針を説明しています。園だより、お知らせ等でも知らせ、懇談会でも取り上げています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画が策定されている。	○
②	中・長期計画を踏まえた年度単位の事業計画が策定されている。	○
③	事業計画の策定が組織的に行われている。	○
④	事業計画が職員に周知されている。	○
⑤	事業計画が保護者等に周知されている。	○

評価分類		A
(3) 管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている。		
<p>①園長は、福祉サービスの向上に向けての取り組みとして、懇談会や個人面談、日々の会話などにより、保護者の意見・意向を吸い上げることを第一に考えています。毎年、利用者満足度アンケートを実施し、回収されたアンケートは集計、分析し園として対応可能なものはすぐに反映するようにしています。行事後にも参加の保護者から意見を聞き、その内容は職員会議等で検討し、次年度の企画に活かしています。その際、園長は業務の改善点を提案し、園の運営や取り組みをリードしています。</p> <p>②職務分担表によって役割分担表を決め責任を明確にし、速やかな対応ができるような仕組みづくりができています。各種会議では保育や行事が円滑に進むように園長が助言や提案をしています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○
②	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	○
③	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	○

評価分類 (4) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		A
<p>①園の重点目標に「職員の資質の向上と保育力の向上」を挙げています。園長は、職員が専門知識や技術の習得が可能となるように様々な分野の研修参加を勧めています。職員自らも積極的に研修に参加して、他の職員への伝達研修を行うなど職員全体が資質向上に努めています。法人の研修として、日頃の保育実践を報告し合う機会があり、同じ社会福祉法人の運営する保育園として、互いの業務を点検し合い、提案する機会を設けて質の向上につなげています。</p> <p>②園長は若い新人職員を皆で育てる環境が望ましいと考えており、そのためには主任が力を発揮できる環境をつくり、主任・チーフ・リーダーと職員が、それぞれの保育に自信を持って取り組めるようにしたいと考えています。</p> <p>③職員はお互いの姿が見える環境で働いており、子どもへの声かけや生活指導など、先輩職員の優れた点を自然に学べる環境となっています。判断に迷うことがあったら、主任、リーダー、保育士、保育補助の関係の中で意見を出し合い、適切な判断を求め確認しながら行動するようにしています。</p>		
職員全体が		実施の可否
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	○

評価分類 (5) 経営環境の変化等に適切に対応している。		A
<p>①園長は専門職ネットワークや法人本部会議等に参加して、園の求められている姿や福祉に関する情報を集めています。そして地域のニーズに合わせて園運営に特徴を出すなど、多角的に検討しています。このような園長の積極的な考えを職員は理解しており、地域支援活動や地域行事に参加した職員が、地域の福祉ニーズを収集して報告しています。法人（事業団）の理念に基づき地域に根ざした保育園づくりを職員全体で考え実施しています。</p> <p>②園長会や子育てサークル等の団体が主催する勉強会に参加の際も、園長は保育事業全体の動向や行政の動き等の最新情報を得ています。</p> <p>③毎月、試算表を用いて月々の経営状況を把握・分析しています。園長は、分析結果や改善事項を職員に説明しており、光熱費のムダを削減するなど、職員全員で努力しています。用品の購入でも、価格調査を実施し、見積を取って検討の後に実行するなど、高い意識で臨んでいます。</p>		
評価項目		実施の可否
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	○

## <組織マネジメントに関する項目>

共通評価領域 6 地域との交流・連携
<p>①地域支援の担当職員を決め、年間計画のもと地域支援に取り組んでいます。地域の特徴を把握し、行事などを通して交流を深め、共に子育てを見守ることができる環境作りをめざしています。外掲示板にポスターを貼り、在宅で子育てしている地域の親子を園庭開放に誘ったり、育児相談を受けつけています。一時保育事業では専任の保育士を配置し、保育室を整備して対応しています。地域向け子育て小冊子「親子ですくすくと」を発行し「よつばキッズニュース」を毎月作成して掲示板に貼って広報しています。</p>
<p>②5歳の子どもたちは、就学前の体験交流で近くの小学校に出かけ、1年生に学校案内をしてもらったり一緒に遊んだりしています。園児が高齢者施設の敬老会に呼ばれ歌やゲームをして楽しむ機会もあります。若い世代の育成支援として中学生の保育体験、技術家庭科保育体験を積極的に受け入れています。今年のお正月には地域のボランティアが来園し、獅子舞を披露してくれました。地域ボランティアの受け入れについてはマニュアルを整え担当を決めています。現在のところ受け入れ実績はそれほど多くありません。</p>
<p>③日頃から地域の児童相談所、近隣の小学校や保育園、幼保小連絡会等の関係機関と密接な連携を図っています。近隣保育園の保育士が勉強会を開き互いに学ぶ機会を持っています。園長が子育て支援関係の連絡会や園長会に出席し、多くの情報収集と分析を行い、その内容を職員が共有しています。地域との関係が確保されていますので、今後も園の機能や専門性を活かした取り組みをさらに発展させて、地域の子ども達と園児と一緒に楽しめる企画や、健康推進支援の講座など、幅広い取り組みが期待されます。</p>

評価分類 (1) 地域との関係が適切に確保されている。	A
<p>①地域支援の担当保育士を決め、年間計画を作成して地域支援に取り組んでいます。地域の特徴を捉えニーズに応えたいと考えています。行事などを通して交流を深め、共に子育てを見守ることができる環境作りをめざしています。外掲示板にポスターを貼り、在宅で子育てしている地域の親子を園庭開放に誘ったり、育児相談を受けつけています。市のホームページでも園の情報を提供しており、園庭開放の参加者は年間150人を超えています。</p>	
<p>②一時保育事業の受け入れには専任の保育士を配置し、保育室を整備しており、その対応と良好な環境は利用者に支持されています。地域向け子育て小冊子「親子ですくすくと」を発行し、「よつばキッズニュース」を毎月作成して掲示板に貼って広報しています。</p>	
<p>③若い世代の育成支援として中学生の保育体験、技術家庭科保育体験を積極的に受け入れています。</p>	
<p>④今年のお正月には地域のボランティアが来園し、獅子舞を披露してくれました。ボランティア受け入れについてはマニュアルを整え担当を決めています。現在のところ受け入れ数はそれほど多くありません。</p>	
	実施の可否
①	地域社会に対して、開かれた組織となるよう、事業所に関する情報を開示している。 <span style="float: right;">○</span>
②	事業者が有する機能を地域に提供している。 <span style="float: right;">○</span>
③	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 <span style="float: right;">○</span>

評価分類		A
(2) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
<p>①日頃から地域の児童相談所、近隣の小学校や保育園、幼保小連絡会等の関係機関と密接な連携を図っています。近隣保育園の保育士が勉強会を開き、互いに学ぶ機会を持っています。園長が子育て支援関係の連絡会や園長会に出席し、多くの情報収集と分析を行い、その内容を職員が共有しています。</p> <p>②地域の子育て育児相談は随時受け付けています。継続しての支援も実施し、専門機関につなぐケースもあります。</p> <p>③5歳の子どもたちは、就学前の体験交流で近くの小学校に出かけ、1年生に学校案内してもらったり一緒に遊んだりしています。また、高齢者施設の敬老会に年に3回招待され歌やゲームで楽しんでいます。</p> <p>④年5回地域活動事業として移動動物園、体操教室（2回）、コンサート、人形劇を企画し、多くの方が参加しています。今後は、園の機能や専門性を活かした取り組みをさらに発展させ、園庭開放に来園した地域の子ども達と園児と一緒に楽しめる企画や、健康推進支援の講座、地域の方向けの体験学習など幅広い取り組みを企画したいと考えており、期待できます。</p>		
		実施の可否
①	関係機関・団体との定期的な連絡会等に参画している。	○
②	地域の関係機関・団体の共通の課題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
③	地域の福祉ニーズを把握するため事業・活動に参加している。	○

<組織マネジメントに関する項目>

共通評価領域 7 職員の資質の向上の促進
①法人の職員配置基準に基づき、保育士の他に看護師、栄養士、事務員を正規職員として配置し、さらに、発達が気になる子供への支援・援助を行う職員を配置しています。法令遵守、倫理観の理解のために、年2回法人の使命を職員が読み合わせしています。法人共通「目標管理シート」を職員が記入し、園長が年2回、5月と1月に面接を実施しています。その際は研修受講履歴、研修報告書、自己研鑽についてなど、進捗状況を確認し園長が助言しています。
②人材育成計画に基づいて作成された法人の研修計画に沿って、新人研修、中堅研修、主任研修、施設長研修等の研修が実施されており、該当する職員が参加しています。各種専門職研修もあり、看護師連絡会、栄養士連絡会、法人（事業団）5園合同研修などもあります。研修の受講は職員の希望を優先し出席しやすいように勤務シフトを調整しています。職員全員が救急救命講習会を受けています。園内研修として、職員が2つのグループを作り研究する試みで効果を上げています。職員が互いに刺激し合い、目的を持って学んでいます。
③職員全体会議、乳児・幼児会議等では、日々の仕事の中で気づいたことや疑問点を発言できるようにしています。園長は、シフト勤務や時間外勤務が過重労働になっていないか常に配慮しており、職員の満足度の把握に努めています。職員間で業務の進捗状況を確認しあい、カバーし合う体制が出来上がっています。有給や部分休業・育児時間等、申請により取得しやすくし、非常勤や臨時職員についても、園長との面談で意向を把握し高いモチベーションで働けるようにしています。職員の健康維持に配慮し環境を整えています。

評価分類 (1) 事業者が目指しているサービスを実現するための人材構成となるよう取り組んでいる。	A
①法人の職員配置基準に基づき、保育士の他看護師、栄養士、事務員を正規職員として配置しています。さらに、発達が気になる子供への支援・援助を行う職員を配置しています。	
②法令遵守、倫理観の理解のために年2回、職員は法人の依命通達の読み合わせをしています。	
③職員の育成と評価、報酬に連動した人材マネジメントの実施に為に、法人共通の「目標管理シート」を職員が記入し、園長が年2回、5月と1月に面接を実施しています。	
④実習生受け入れでは、主任保育士と担当保育士が指導計画の作成や日々の記録の取り方、援助方法などを具体的に指導しており、オリエンテーションや反省会も実施しています。養成校との連携にも努めています。実習生が来ていることは掲示して保護者にも知らせています。年間2名から3名の実習生を受け入れしています。	
評価項目	実施の可否
① 必要な人材や人員体制に関する具体的な考え方が確立している。	○
② 具体的なプランに基づく人材の確保に取り組んでいる。	○
③ 遵守すべき法令・規範・倫理等を正しく理解するための取組を行っている。	○
④ 職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格など）が連動した人材マネジメントを行っている。	○
⑤ 実習生の受け入れと育成が積極的に行われている。	○

<b>評価分類</b> <b>(2) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b>		A
<p>①人材育成計画に基づいて作成された法人の研修計画にそって、新人研修、中堅研修、主任研修、施設長研修等の研修が実施されており、該当する職員が参加しています。その他の一人ひとりの職員に適した各種研修があり、看護師連絡会、栄養士連絡会の他に、リトミック・体操・わらべうた・絵画など現場の保育実践に即役立つ法人5園合同研修などもあります。社会福祉協議会、保育園協会、子育て連絡協議会など様々な団体主催の研修にも職員が参加しています。</p> <p>②研修の受講は職員の希望を優先し、出席しやすいように職員の勤務シフトを調整しています。全職員が救急救命講習会に参加しています。個人別「目標管理シート」には研修に関する項目も含まれており、職員は目的を持って学んでいます。園長面接の際は研修受講履歴、研修報告書、自己研鑽のについても確認しています。</p> <p>③2年を一つの単位とし、園内研修として職員が2つのグループを作り研究する試みで効果を上げています。研修テーマは全体会議で検討して決定し、10月に中間報告会を開催して次への課題をまとめ、2月に総括報告会を開催しています。昨年度は「運動」と「栽培・食育」の2グループで、今年度は「環境」と「運動・体づくり」で、職員が互いに刺激し合っていて学んでいます。</p>		
<b>評価項目</b>		<b>実施の可否</b>
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	○
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	○
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	○

<b>評価分類</b> <b>(3) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b>		A
<p>①職員全体会議、乳児・幼児会議、日々の申し送り等では、それぞれが仕事の中で気づいたことや疑問点を発言できるようにしています。園長は、職員が日々の保育の中での気づき、意見及び改善点等についての自由な発言を促しており、シフト勤務や時間外勤務が過重労働になっていないか、常に配慮しています。必要に応じてシフトを変更して対応することも可能です。また、職員の満足度の把握に努めています。職場では、職員間で業務の進捗状況を確認しあい、手伝ったり、カバーし合う体制が出来上がっています。有給や部分休業・育児時間等、申請により取得しやすくしています。</p> <p>②非常勤や臨時職員については、年1回から2回、園長との面談や任用時の面談で意向を把握しています。本人のモチベーションの維持に努めています。</p> <p>③職員の健康維持に配慮し、休憩時間も確保しています。年に1回の健康診断の他に腰痛健康診断も実施しています。産業医が年1回職場巡視を行っており、職場環境の改善につながっています。</p> <p>④園長が衛生推進委員となって、職員が安全に働けるよう配慮しています。</p>		
<b>評価項目</b>		<b>実施の可否</b>
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○
②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	○

認可保育所 利用者調査項目（アンケート）

- アンケート送付数（対象者数）（ 60 ）人
- 回収率 73%（ 44 ）人

サービスの提供

利用者調査項目		はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
1	落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか。	100%	0%	0%	0%
		44人	0人	0人	0人
2	子どもの体調変化への対応は適切か。	93%	0%	7%	0%
		41人	0人	3人	0人
3	提供されている食事は、子どもの状況に配慮されているか。	98%	0%	2%	0%
		43人	0人	1人	0人
4	子どもの保育について、保護者と園に信頼関係があるか。	98%	0%	2%	0%
		43人	0人	1人	0人
5	園の生活で身近な自然や社会と十分かかわっているか。	95%	0%	5%	0%
		42人	0人	2人	0人
6	安全対策が十分に取られているか。	91%	0%	7%	2%
		40人	0人	3人	1人

利用者個人の尊重

7	一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか。	93%	0%	5%	2%
		41人	0人	2人	1人
8	子どものプライバシーは守られているか。	84%	0%	16%	0%
		37人	0人	7人	0人

相談・苦情への対応

9	保護者の考えを聞く姿勢があるか。	77%	5%	18%	0%
		34人	2人	8人	0人
10	第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか。	25%	68%	7%	0%
		11人	30人	3人	0人
11	要望や不満はきちんと対応されているか。	73%	5%	23%	0%
		32人	2人	10人	0人

周辺地域との関係

12	周辺地域と園との関係は円滑に進められているか。	86%	0%	11%	2%
		38人	0人	5人	1人

利用前の対応

13	【過去1年以内に利用を開始され、利用前に説明を受けた方に】サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか。	85%	0%	15%	0%
		22人	0人	4人	0人